



## 2021年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年11月12日

上場会社名 株式会社グルメ杵屋

上場取引所 東

コード番号 9850 URL <https://www.gourmet-kineya-hd.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 椋本 充士

問合せ先責任者 (役職名) 経理・システム部門担当取締役 (氏名) 寺岡 成晃

TEL 06-6683-1222

四半期報告書提出予定日 2020年11月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期第2四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	9,257	53.7	2,718		2,704		3,552	
2020年3月期第2四半期	20,007	1.5	478	21.2	518	35.4	344	118.0

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 3,523百万円 ( %) 2020年3月期第2四半期 350百万円 (217.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	157.39	
2020年3月期第2四半期	15.25	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第2四半期	41,257	10,568	24.2	442.76
2020年3月期	36,631	14,094	36.9	598.94

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 9,994百万円 2020年3月期 13,520百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		0.00		0.00	0.00
2021年3月期		0.00			
2021年3月期(予想)					

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2021年3月期の配当予想につきましては未定であります。

### 3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	23,516	39.7	4,003		3,988		5,103		226.06

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

## 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、10ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2021年3月期2Q	22,610,359 株	2020年3月期	22,610,359 株
------------	--------------	----------	--------------

期末自己株式数

2021年3月期2Q	36,124 株	2020年3月期	36,124 株
------------	----------	----------	----------

期中平均株式数(四半期累計)

2021年3月期2Q	22,574,235 株	2020年3月期2Q	22,574,235 株
------------	--------------	------------	--------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は経済情勢等様々な不確定要因により、これからの予測数値と異なる場合があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	10
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	10
(追加情報) .....	10
(セグメント情報) .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大を受け、経済活動の停滞により消費活動が著しく減少し、先行きは依然不透明な状況となっております。

このような状況の中、当社グループにおきましても新型コロナウイルス感染症拡大により、緊急事態宣言下での店舗休業や時間短縮、および海外との渡航制限の影響により現在も一部店舗の休業継続や航空会社の減便による機内食需要の減少等により、過去と比較できない大きな影響を受け、売上高は前年同期に対して大幅な減収となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高92億57百万円（前年同期比107億50百万円減）、営業損失27億18百万円（前年同期は営業利益4億78百万円）、経常損失27億4百万円（前年同期は経常利益5億18百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失35億52百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益3億44百万円）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりです。

#### (レストラン事業)

レストラン事業においては、新型コロナウイルス感染症予防対策として店舗衛生管理及び従業員の体調管理の徹底、アルコール消毒液の設置、ソーシャルディスタンス確保等を推進し、お客様と従業員の安全を第一に営業を行うとともに、お客様のニーズにあわせたテイクアウトメニューの充実やデリバリーサービス対応店舗の拡大を行いました。

また、4月に茨城県を中心にラーメン店及び中華料理等を展開する(株)雪村及び(株)ゆきむら亭エフシー本部（以下、あわせて「雪村」）の株式を100%取得しグループ会社としたことで、茨城県北部を中心にラーメン店等を展開する(株)老番亭本部とともに関東東部地域におけるラーメン店経営の地盤を強化いたしました。7月には当社グループの組織再編の一環として、業務の効率化及び人材・経営資源の集約化を図りグループ全体の組織力強化並びに顧客サービスの向上を図るため、連結子会社であった(株)銀座田中屋を吸収合併致しました。

その結果、新店は37店舗（そば部門の「おらが蕎麦」1店舗、「そじ坊」1店舗、焼肉業態の「炎座」1店舗、及び「雪村」の直営店舗18店舗とフランチャイズ店舗16店舗）であり、改装は9店舗実施し、そのうち3店舗は業態変更を行いました。また、退店は22店舗であり、6店舗は直営からフランチャイズ店舗へ移管致しました。この結果、当第2四半期連結会計期間末におけるレストラン事業の店舗数は、38都道府県に433店舗（フランチャイズ店舗89店舗を含む）となりました。

以上の結果、レストラン事業の売上高は64億29百万円（前年同期比54.3%減）、セグメント損失20億28百万円（前年同期は5億78百万円の利益）となりました。

#### (機内食事業)

(株)エイエエスケータリングにおいては、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う渡航制限により航空会社の著しい減便が続いており、大幅な減収減益となりました。

以上の結果、機内食事業の売上高は4億17百万円（前年同期比87.2%減）、セグメント損失3億32百万円（前年同期は1億80百万円の利益）となりました。

#### (業務用冷凍食品製造事業)

(株)アサヒウェルネスフーズにおいては、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う外出自粛等による巣ごもり需要の高まりにより冷凍弁当の製造が増加したことから増収増益となりました。

以上の結果、業務用冷凍食品製造事業の売上高は10億52百万円（前年同期比41.7%増）、セグメント損失38百万円（前年同期は78百万円の損失）となりました。

#### (不動産賃貸事業)

大阪木津市場(株)においては、地方卸売市場の入居率はほぼ前年同期並みではあるものの、新型コロナウイルス感染症に伴う賃借料の減額及びコストの増加等により減収減益となりました。

以上の結果、不動産賃貸事業の売上高は3億38百万円（前年同期比3.3%減）、セグメント利益1億24百万円（前年同期は1億55百万円の利益）となりました。

#### (運輸事業)

水間鉄道(株)においては、新型コロナウイルス感染症の影響による利用客の減少により減収減益となりました。

以上の結果、運輸事業の売上高は1億80百万円（前年同期比22.5%減）、セグメント損失48百万円（前年同期は10百万円の利益）となりました。

## (その他)

大阪木津市場(株)で展開しております水産物卸売事業は、新型コロナウイルス感染症の影響により魚介の卸売数量が減少したことから減収減益となりました。日本食糧卸(株)で展開しております米穀卸売事業は、新型コロナウイルス感染症の影響により販売数量が減少したことにより減収減益となりました。

以上の結果、その他の売上高は8億38百万円(前年同期比37.8%減)、セグメント損失66百万円(前年同期は22百万円の損失)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は145億7百万円となり、前連結会計年度末に比べ35億3百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金23億95百万円及び商品及び製品8億3百万円の増加によるものであります。固定資産は267億49百万円となり、前連結会計年度末に比べ11億22百万円増加いたしました。これは主に建物及び構築物5億67百万円及びのれん3億38百万円の増加によるものであります。

この結果、総資産は、412億57百万円となり、前連結会計年度末に比べ46億25百万円増加いたしました。

## (負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は143億65百万円となり、前連結会計年度末に比べ69億34百万円増加いたしました。これは主に短期借入金69億円の増加によるものであります。固定負債は163億23百万円となり、前連結会計年度末に比べ12億17百万円増加いたしました。これは主に長期借入金12億2百万円の増加によるものであります。

この結果、負債合計は、306億88百万円となり、前連結会計年度末に比べ81億51百万円増加いたしました。

## (純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は105億68百万円となり、前連結会計年度末に比べ35億25百万円減少いたしました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純損失35億52百万円等によるものであります。

この結果、自己資本比率は24.2%(前連結会計年度末は36.9%)となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大による影響を合理的に算定することが困難であったことから、2021年3月期の連結業績予想を開示しておりませんでした。当第2四半期連結累計期間の業績動向等を踏まえ、新型コロナウイルス感染症が当連結会計年度末までに収束しない前提のもとで、現時点で入手可能な情報に基づき業績予想を算定しております。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	8,414,584	10,809,896
預け金	440,367	440,388
売掛金	1,037,479	859,195
商品及び製品	369,922	1,173,552
原材料及び貯蔵品	296,451	328,226
短期貸付金	653	2,690
その他	446,757	895,917
貸倒引当金	△1,562	△2,045
流動資産合計	11,004,653	14,507,823
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	26,886,956	28,421,116
減価償却累計額	△19,259,442	△20,225,626
建物及び構築物(純額)	7,627,513	8,195,489
機械装置及び運搬具	2,885,412	3,125,275
減価償却累計額	△1,962,678	△2,230,757
機械装置及び運搬具(純額)	922,734	894,517
工具、器具及び備品	1,918,801	2,077,181
減価償却累計額	△1,348,379	△1,554,187
工具、器具及び備品(純額)	570,421	522,993
土地	8,356,356	8,450,655
建設仮勘定	475,570	70,582
有形固定資産合計	17,952,596	18,134,238
無形固定資産		
のれん	87,791	426,335
その他	113,823	103,550
無形固定資産合計	201,614	529,885
投資その他の資産		
投資有価証券	1,730,022	1,749,181
長期貸付金	53,527	64,425
差入保証金	5,525,638	5,467,949
繰延税金資産	41,382	135,141
その他	140,661	687,163
貸倒引当金	△18,525	△18,595
投資その他の資産合計	7,472,706	8,085,265
固定資産合計	25,626,917	26,749,390
資産合計	36,631,570	41,257,214

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	747,331	853,928
短期借入金	270,000	7,170,000
1年内償還予定の社債	430,000	360,000
1年内返済予定の長期借入金	3,248,373	3,701,913
リース債務	23,311	10,214
未払金	292,099	305,625
未払費用	1,491,081	1,150,810
未払法人税等	160,036	55,881
未払消費税等	202,573	43,613
賞与引当金	144,282	162,384
資産除去債務	164,873	234,264
その他	257,517	316,897
流動負債合計	7,431,480	14,365,534
固定負債		
社債	300,000	155,000
長期借入金	11,309,964	12,512,599
リース債務	14,399	9,599
長期未払金	136,009	336,009
繰延税金負債	1,426,820	1,435,568
資産除去債務	964,295	904,968
転貸損失引当金	9,750	8,250
退職給付に係る負債	140,232	127,034
その他	804,336	834,192
固定負債合計	15,105,807	16,323,221
負債合計	22,537,287	30,688,756
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,838,236	5,838,236
資本剰余金	6,849,051	6,849,051
利益剰余金	658,746	△2,894,100
自己株式	△35,361	△35,361
株主資本合計	13,310,672	9,757,825
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	268,878	291,891
為替換算調整勘定	△55,091	△51,886
退職給付に係る調整累計額	△3,797	△2,935
その他の包括利益累計額合計	209,989	237,068
非支配株主持分	573,620	573,563
純資産合計	14,094,282	10,568,457
負債純資産合計	36,631,570	41,257,214

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
売上高	20,007,783	9,257,628
売上原価	12,022,847	6,310,558
売上総利益	7,984,935	2,947,069
販売費及び一般管理費	7,506,248	5,665,372
営業利益又は営業損失(△)	478,687	△2,718,303
営業外収益		
受取利息	2,187	2,171
受取配当金	24,005	21,173
賃貸料収入	31,671	66,421
その他	46,303	50,177
営業外収益合計	104,168	139,943
営業外費用		
支払利息	38,730	61,355
借入手数料	1,800	1,800
賃貸費用	20,385	35,259
持分法による投資損失	—	25,083
その他	3,095	2,432
営業外費用合計	64,011	125,931
経常利益又は経常損失(△)	518,844	△2,704,291
特別利益		
固定資産売却益	6	6,430
投資有価証券売却益	22,473	—
受取補償金	12,500	—
受取保険金	13,207	7,555
助成金収入	—	536,543
特別利益合計	48,187	550,529
特別損失		
固定資産除却損	33,118	18,693
減損損失	42,846	79,220
新型コロナウイルス感染症による損失	—	1,237,817
その他	—	865
特別損失合計	75,964	1,336,597
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	491,067	△3,490,358
法人税等	119,066	62,894
四半期純利益又は四半期純損失(△)	372,001	△3,553,253
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	27,631	△406
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	344,369	△3,552,847

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	372,001	△3,553,253
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	11,890	23,012
為替換算調整勘定	△35,879	6,712
退職給付に係る調整額	2,379	867
持分法適用会社に対する持分相当額	—	△1,225
その他の包括利益合計	△21,609	29,367
四半期包括利益	350,391	△3,523,886
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	334,769	△3,525,765
非支配株主に係る四半期包括利益	15,621	1,879

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	491,067	△3,490,358
減価償却費	537,789	548,386
減損損失	42,846	79,220
のれん償却額	18,302	28,891
長期前払費用償却額	19,300	17,082
賞与引当金の増減額(△は減少)	54,525	6,766
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△518	△79
転貸損失引当金の増減額(△は減少)	△1,500	△1,500
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	3,505	△12,331
受取利息及び受取配当金	△26,192	△23,344
助成金収入	—	△536,543
支払利息	38,730	61,355
投資有価証券売却損益(△は益)	△22,473	—
持分法による投資損益(△は益)	—	25,083
固定資産除却損	33,118	18,693
固定資産売却損益(△は益)	△6	△6,430
売上債権の増減額(△は増加)	17,485	219,408
たな卸資産の増減額(△は増加)	△712,842	△782,169
仕入債務の増減額(△は減少)	73,013	57,646
未払費用の増減額(△は減少)	△114,080	△342,823
未払消費税等の増減額(△は減少)	△175,212	△285,816
その他	△78,640	△54,943
小計	198,218	△4,473,804
利息及び配当金の受取額	26,192	23,344
利息の支払額	△40,096	△63,859
助成金の受取額	—	177,841
法人税等の支払額	△64,156	△162,366
営業活動によるキャッシュ・フロー	120,158	△4,498,844
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
補助金の受取額	38,580	26,557
有形固定資産の取得による支出	△1,170,362	△364,894
無形固定資産の取得による支出	△40,841	△5,866
長期前払費用の取得による支出	△74,655	△5,137
店舗撤去に伴う支出	△51,351	△76,663
有形固定資産の売却による収入	7	7,373
投資有価証券の取得による支出	△7,334	—
投資有価証券の売却による収入	26,170	1,160
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△1,150,318
貸付けによる支出	△10,450	△500
貸付金の回収による収入	1,510	6,468
差入保証金の差入による支出	△27,294	△36,882
差入保証金の回収による収入	139,400	171,340
その他	—	100
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,176,620	△1,427,262

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	600,000	7,000,000
短期借入金の返済による支出	△30,000	△100,000
長期借入れによる収入	2,047,810	3,530,000
長期借入金の返済による支出	△1,391,175	△1,873,824
社債の償還による支出	△215,000	△215,000
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△95,318	—
配当金の支払額	△277,736	△1,922
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△16,040	△17,897
その他	△2,274	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	620,263	8,321,355
現金及び現金同等物に係る換算差額	△437	63
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△436,635	2,395,312
現金及び現金同等物の期首残高	6,047,149	8,414,584
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,610,513	10,809,896

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

レストラン事業におきましては、新型コロナウイルス感染症拡大によるショッピングモールの休業や営業時間短縮等の影響を受けており、この状況が第2四半期以降、徐々に正常化すると見込み、将来キャッシュ・フローの見積りを行っております。機内食事業においても、世界各国の渡航制限による国際便の減便による影響を受けており、この状況は来年度以降に徐々に正常化すると見込み、将来キャッシュ・フローの見積りを行っており、前連結会計年度末において行った会計上の見積りの前提となる仮定に重要な変更を行っておりません。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自2019年4月1日 至2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	レストラン 事業	機内食 事業	業務用冷凍 食品製造 事業	不動産 賃貸事業	運輸事業	計				
売上高										
外部顧客に対する 売上高	14,066,464	3,266,972	742,879	350,166	233,669	18,660,151	1,347,631	20,007,783	—	20,007,783
セグメント間の内部 売上高又は振替高	33,063	9,649	5,264	—	43,011	90,988	583,813	674,802	△674,802	—
計	14,099,527	3,276,621	748,143	350,166	276,681	18,751,140	1,931,445	20,682,585	△674,802	20,007,783
セグメント利益又は 損失(△)	578,654	180,491	△78,825	155,117	10,826	846,264	△22,665	823,599	△344,911	478,687

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、水産物卸売事業及び米穀卸売事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△344,911千円は、主に各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第2四半期連結累計期間(自2020年4月1日 至2020年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	レストラン 事業	機内食 事業	業務用冷凍 食品製造 事業	不動産 賃貸事業	運輸事業	計				
売上高										
外部顧客に対する 売上高	6,429,158	417,548	1,052,649	338,525	180,985	8,418,868	838,759	9,257,628	—	9,257,628
セグメント間の内部 売上高又は振替高	40,460	2,322	8,288	—	13,223	64,295	301,899	366,195	△366,195	—
計	6,469,619	419,870	1,060,938	338,525	194,209	8,483,163	1,140,659	9,623,823	△366,195	9,257,628
セグメント利益又は 損失(△)	△2,028,402	△332,305	△38,816	124,406	△48,246	△2,323,365	△66,553	△2,389,919	△328,384	△2,718,303

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、水産物卸売事業及び米穀卸売事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△328,384千円は、主に各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「レストラン事業」セグメントにおいて、当第2四半期連結累計期間において、店舗資産の減損損失を79,220千円計上しております。なお、減損損失は特別損失のため、セグメント利益には含まれておりません。